



警告のニューズレター「角笛」

発行日：2017年3月発行（第83号）

発行：警告の角笛出版

価格：フリーペーパー

角笛 HP: <http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

【目次】

- ◎巻頭メッセージ：「ソドムの罰を受けるアメリカキリスト教会」 エレミヤ
- ◎時代を悟る：「同性愛に対してのアメリカの流れ LGBTのトレンド」 H.F
- ◎お知らせコーナー 「本の紹介」

[巻頭メッセージ]

「ソドムの罰を受けるアメリカキリスト教会」by エレミヤ

本日は「ソドムの罰を受けるアメリカキリスト教会」として、これからアメリカのキリスト教会に来たらんとする神からの裁き、罰について書いていきたいと思えます。アメリカのキリスト教会がいずれその罪のゆえに火で滅ぼされる日がくる、ことを見ていきたいと思うのです。

<淫婦バビロンとはアメリカキリスト教会をさす>

いきなりアメリカのキリスト教会がソドム、ゴモラの罰を受ける、火で滅ぼされる、と書くなら「何でそんな結論になるのか？」と疑問に思う人もいでしょう。

もっともな反応です。ですので、これから順番にこのことに関して記載していきたいと思えます。ご存知の様に黙示録は淫婦バビロンがその日、火で滅びることを

預言します。以下の通りです。

黙示録18:9 彼女と不品行を行ない、好色にふけた地上の王たちは、彼女が火で焼かれる煙を見ると、彼女のことで泣き、悲しみます。

18:10 彼らは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、こう言います。『わざわざ来た。わざわざ来た。大きな都よ。力強い都、バビロンよ。あなたのさばきは、一瞬のうちに来た。』

以前から書いているように私たちは黙示録に預言されている淫婦バビロンとは、アメリカのキリスト教会をさすとえと理解しています。そう思う理由は以下の通りです。

1. 淫婦バビロンには、教会を暗示する表現がいくつか記載されている。すなわち、ぶどう酒（聖餐式のぶどう酒）、花嫁、花婿（教会の結婚式）、楽器（教会の賛美の楽器）などの教会に関わる表現がある。したがって、淫婦バビロンとはある種の教会をさす表現であると理解できる。

「ソドムの罰を受けるアメリカキリスト教会」 エレミヤ

2 淫婦バビロンという表現でこのバビロンは女性であることが語られている。そして、エペソ書によれば、女は教会のたとえである。

エペソ5:31 「それゆえ、人はその父と母を離れ、妻と結ばれ、ふたりは一心同体となる。」

5:32 この奥義は偉大です。私は、キリストと教会とをさして言っているのです。

しかし、この女は、忠実な教会というより、淫婦すなわち、夫であるキリストに対して忠実でなく、逆にこの世や、偶像と姦淫を犯している教会である。

3 この女は獣の国と密接な関係を持っている。以下のことばのとおりである。

黙示録17:3 それから、御使いは、御霊に感じた私を荒野に連れて行った。すると私は、ひとりの女が緋色の獣に乗っているのを見た。その獣は神をけがす名で満ちており、七つの頭と十本の角を持っていた。

聖書は女が獣に乗っているとの表現を通してこの獣の国と女との密接な関係を語る。これらは不可分な関係なのである。

我々の理解では獣の国はアメリカの国である。したがって、この淫婦バビロンとはアメリカのキリスト教会をさすと理解することが妥当である。これらは不可分の関係である。

＜何故バビロンは神により憎まれるのか？＞

黙示録はこのバビロン、すなわちアメリカのキリスト教会がその日、すさまじい神の怒りや、罰を受けることを語ります。しかし、それは何故なのでしょう？黙示録には以下の理由が記されています。

「不品行のぶどう酒を飲むため」

神の怒りの理由として聖書はこう語ります。

黙示録 17:4 この女は紫と緋の衣を着ていて、金と宝石と真珠とで身を飾り、憎むべきものや自分の不品行の汚れでいっぱいになった金の杯を手を持っていた。

ここで書かれている杯とは教会の聖餐式で使われるぶどう酒の杯と同じ表現です。そして、ぶどう酒は聖霊のたとえです。すなわち、この箇所ですべてを通して語られていることはこのことです。すなわちこの教会は、聖霊のぶどう酒の代わりに悪霊のぶどう酒に酔っている、そのことに関して神の怒りが臨んでいる、このことが表現されているのです。悪霊のぶどう酒とはすなわち、アメリカキリスト教会を基点に広がっている聖霊の第3の波、ペンサコーラリバイバルなどのリバイバル現象、ベニーヒン、ロドニーハワードを始めとした悪霊的な器を通しておきているリバイバル現象をさすのです。これらは神の霊によるものでなく、逆に悪霊的なものです。そして、この霊を受入れることは神の前には姦淫であり、不品行なのです。

「正しいクリスチャンへの迫害のゆえ」

聖書はいずれ、バビロン、すなわちアメリカキリスト教会の中で、正しいクリスチャンへの迫害が起き、ついには、聖徒の血が流され命を失う人も起きることを預言します。以下のとおりです。

黙示録17:6 そして、私はこの女が、聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔っているのを見た。私はこの女を見たとき、非常に驚いた。

「ソドムの罰を受けるアメリカキリスト教会」 エレミヤ

ここに書かれているようにアメリカにおいていずれ、聖徒の血が流され、彼らが殉教します。聖徒ということばの意味合いは、罪や、この世、地につくものから分離されている人々という意味合いです。何故彼らが迫害されるのでしょうか？その理由はこうです。アメリカの多くのクリスチャンはますますこの世につき、聖書の教えや聖霊の語ることばとは無縁になり、離れて行きます。その結果、彼らは、聖徒すなわち正しいクリスチャンを憎むようになります。すなわち、中絶反対、同性愛反対、戦争反対などを唱え、正しいことを叫ぶクリスチャンを憎み、彼らを罰し、そのいのちを奪うようにするのです。

訴訟社会アメリカでは、いずれ世的なクリスチャンが正しいクリスチャンを訴え、裁判にかけ、そして死刑判決を求めることが起きてくるでしょう。以下のことばの通りです。

マタイ 10:21 兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子どもたちは両親に立ち逆らって、彼らを死なせます。

10:22 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人々に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

兄弟は教会の兄弟姉妹をさすたとえであり、父、子は教会の父である牧師や、子である信者をさすたとえです。教会の中でその信仰のゆえに訴訟沙汰が起きる日が来るのが預言されているのです。そして、このように訴えられ、死に渡された正しいクリスチャンの血のゆえにアメリカキリスト教会に神からの罰やさばきが臨むのです。

＜バビロンはソドムの罪に入る＞

さて、聖書はまた淫婦バビロンがソドム、ゴモラの罪に加担することをも預言しています。以下のとおりです。

イザヤ13:19 こうして、王国の誉れ、カルデ

ヤ人の誇らかな栄えであるバビロンは、神がソドム、ゴモラを滅ぼした時のようになる。

ここでは、バビロンがソドム、ゴモラを滅ぼした時のように滅びることが預言されています。ソドム、ゴモラは火で滅ぼされました。そして、それはまた黙示録で淫婦バビロンが火で滅ぼされると記載されていることと符号します。バビロンはソドムと同じ方法で滅ぼされるのです。このことを通してバビロンの滅びの原因はすなわち、ソドム、ゴモラの罪、同性愛の罪の故であることが想像できます。ソドム、ゴモラの罪に関してペテロはこう述べます。

2ペテロ 2:6 また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、以後の不敬虔な者へのみせしめとされました。

すなわち、ソドム、ゴモラへの罰とは天から火が下り、それらの町々が燃え、灰になるという方法の裁きであることがここでは書かれています。

ソドム、ゴモラの罪とはその不敬虔をさし、具体的には同性愛の罪をさすのです。その罪の故にこれらの町は滅ぼされ、灰になったのです。同じくバビロン、アメリカキリスト教会の罪とは、同性愛容認の罪であり、その罪の故にバビロン、アメリカのキリスト教会は火で滅ぼされるようになるのです。

＜アメリカのキリスト教会はソドム化しつつある＞



ソドムへの火の裁き

「ソドムの罰を受けるアメリカキリスト教会」 エレミヤ

現代のアメリカの一つの大きなトレンドは同性愛を急速に受入れ始めている、ということです。前の大統領オバマ、また次の大統領トランプ、どちらも同性愛（LGBT）を公に受入れ、擁護しています。また、アメリカの大統領オバマは同性婚は合法であると宣言しています。同性婚が合法であるということは、すなわち、それに反対する人々は、非合法であり、法を犯す者であり、犯罪者であるとの理屈がなりたちます。事実、オバマのその宣言以降、同性愛に反対するクリスチャンは犯罪者であるとみなされ、この国で実際に逮捕、投獄されているのです。

そしてそのようなアメリカ国のトレンドに伴い、多くのアメリカクリスチャンは、同性愛を受け入れ始めています。統計によれば、この国の半数以上のクリスチャンが同性愛を容認しているとのこと。半分？大変な数です。すなわちこの国の教会は急速にソドム化していることがわかるのです。

<ソドムへの裁きは繰り返される>

かつての日、不敬虔な町ソドム、ゴモラはその罪の故、火で滅びました。これらの町が滅んだこと、それは歴史的な事実です。しかし、この裁きはソドムにとどまらず、その後あえて不敬虔な行いをする者への見せしめであることが聖書に書かれています。以下の通りです。

2ペテロ 2:6 また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、以後の不敬虔な者へのみせしめとされました。

見せしめということを考えて見ましょう。見せしめの意味合いは、これ以降同じ罪をあえて犯すものは神の怒りをかい、ソドムと同じ罰を受ける、ということの意味しています。神は公平で、正しい方なので、時代が変わってもソドムと同じ罪を犯す者に対しては同じ罰を下されるのです。

たとえ、それがどのような人、町、国であろうとも、それ以降ソドムと同じ罪をあえて犯す人、町、国はみな同じ罰、すなわち火で滅ぼされるようになるのです。

そして現在の問題は、この今の時代において、これらの聖書の記述を恐れず、神を恐れず、あえて同性愛の罪にまい進している国が存在し、その罪を積極的に犯すキリスト教会が存在しているということです。他にもないアメリカキリスト教会がそのソドムの道を歩む教会なのです。

この同性愛の罪にまい進しているアメリカキリスト教会の行く末はどのようなものであり、どのような結論が未来に待っているのでしょうか？

その結論は聖書黙示録に預言されており、大きく警告されています。「淫婦バビロンが火で滅ぼされる」という黙示録の記述がその答えであり、そのアメリカキリスト教会の未来の運命なのです。神を侮り聖書の全ての警告を侮り、ソドム、ゴモラの見せしめの例をも軽視し、あえて同性愛の罪をまい進するアメリカキリスト教会はその罪のゆえ、いずれ当然の罰として、ソドム、ゴモラと同じ罰を受け、火で滅び、灰に帰する、それがバビロンの預言を通して、聖書が語っていることなのです。

私たちは神を恐れなければなりません。

<全世界も同性愛の罪のゆえに滅びる>

さて、ついでもありませんが、もう少しこのソドムの罪に関して書きます。ペテロは終末に天地が焼け尽きる日が来ることを語ります。以下のとおりです。

「ソドムの罰を受けるアメリカキリスト教会」 エレミヤ

2ペテロ 3:10 しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

ここでは、天地が火で焼き尽くされる日が来ることが預言されているのです。全世界がソドム、ゴモラと同じ様に火で焼き尽くされるのです。しかし、何故そんな日が全世界に来るのでしょうか？以下のことばがその答えと思われまます。

2ペテロ3:7 しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているのです。

その火の裁きの日は、全世界の人々の不敬虔の故、彼らへの裁きとして来ることがここでは語られているのです。不敬虔とは、ソドム、ゴモラの罪を表現するとき、使われたことばと同じことばです。すなわち、主の日、終わりの日に天地が焼け尽け、世界中の全ての人々が滅びるその理由は全世界がソドムの罪、同性愛の罪に加担するからである、その故であることが想像できるのです。

アメリカを起点にして起きている同性愛容認のムーブメントは今、全世界に広がっています。欧米の多くの国はその方向に進んでおり、アジアの日本も例外ではありません。このムーブメントは全世界を覆うようになるでしょう。しかし、その先に待っているのは、神の怒りであり、火の裁きであることをも知りましょう。しかし、地球が焼け尽くされ、太陽が焼け尽くされてしまうなら、どこに逃れることができるのでしょうか？恐ろしいことです。

ペテロはこの火で天地が焼ける日が来るその理由が人々の不敬虔のゆえであることを語り、私たちが敬虔に歩むべきことを薦めます。以下の通りです。

2ペテロ3:11 このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならないことでしょうか。

3:12 そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

3:13 しかし、私たちは、神の約束に従って、正義の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

3:14 そういふわけで、愛する人たち。このようなことを待ち望んでいるあなたがたですから、しみも傷もない者として、平安をもって御前に出られるように、励みなさい。

ここでペテロは既にクリスチャンになっている人々に対して、「あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならないことでしょうか。」と薦めています。このことを通して、わかることがあります。すなわちもし、私たちがすでにクリスチャンであったとしても不敬虔な歩みをしたり、同性愛を受入れたりしているなら、私たちが滅びや裁きに巻き込まれることが暗示されるのです。ですので「クリスチャンになったなら、決して救いから漏れることはない」などとの愚かな嘘話、耳ざわりの良い偽り教理に惑わされず歩みを正すことが必要なのです。神を恐れましょう。一以上一



その日、地は燃え尽き、不敬虔な人は滅びる

時代を悟りなさいと主イエスは言われました。今はどのような時代なのでしょう。世界に多大な影響を与えているアメリカのトレンドを見たいと思います。ここ数年、アメリカにおいて同性愛者に対しての権利が声高に叫ばれるようになりました。オバマ前大統領政権時に同性愛者の結婚が合法化され、同性愛者に対して多くの保護がなされてきました。

そして今年1月、トランプ大統領が就任し、同性愛者を保護する法令は前政権と変わらず継承することを決定しました。以前の記事でも書きましたが、公立学校のトランスジェンダートイレを設置など、アメリカでは法律で同性愛者の権利が強力に守られるようになっています。そしてそれは同性愛に反対することが認められなくなったことを意味します。

例えば、昨年オレゴン州のクリスチャンの経営するケーキ店が、同性愛者の結婚式のケーキを焼くことを拒否し訴えられ、多額の賠償金を払うことになりました。店は廃業となりました。コロラド州のベーカリーでも同様に罰金を払わされています。同性愛の結婚式を断ったいくつかの式場も裁判で多額の罰金を払わされ、写真撮影を断ったカメラマンも最高裁で敗訴しています。2015年に、同性愛の結婚許可証の発行を拒否したケンタッキー州の職員は、逮捕されました。同性愛に反対することは、法律違反とみなされるのです。

また、アメリカのエンターテインメントの世界で同性愛に反対するタレントには、差別論者のレッテルが張られています。同性愛を認めない教会に出席しているという理由だけで、有名なタレント夫婦がメディアに大きく非難されています。また、女性ゴスペル歌手の同性愛反対の意見を述べた動画が、ネットに上げられたところ批判が集中しました。

アメリカの健全な子供雑誌として人気の「High Lights」では今年、同性愛者の記事を2ページにわたり載せています。

ボーイスカウトは同性愛者の指導者を認めており、今年LGBTに配慮して女子の参加も許可しました。今の子供達が成長し大人になるころには、同性愛は全く普通のことであり、何の疑問も感じなくなっていることでしょう。これが今のアメリカの現状です。またアメリカの教会においても同様です。現在、アメリカの教会のクリスチャンの半数は同性愛を受け入れているという統計があります。今年ワシントンDCの歴史あるバプテスト教会では同性愛者のカップルを共同牧師として認めました。同性愛の権利を守るというアメリカの国策が、アメリカの教会にも大きく影響を及ぼしているのです。

そしてアメリカの教会に追随する形で多くの国の教会が同性愛を受け入れています。一例では、スウェーデンのルーテル教会が同性愛の結婚を受け入れました。日本は同性愛の牧師の教会が存在しています。私達も同性愛を保護するアメリカの影響を多大に受けているのです。恐ろしい勢いで世界中の教会で同性愛が受け入れられています。十数年前では全く考えられないことです。歴史上、このように教会が同性愛を受け入れた時代はあったのでしょうか・・・。

現在、同性愛は保護すべきものとなりました。これは人道的には良いように思えます。「神は愛」であるから、同性愛を受け入れるのは神の御心になっっているようにも見えます。しかし聖書には以下のようにあります。

レビ記18：22

あなたは女と寝るように、男と寝てはならない。これは忌みきらうべきことである

ロマ書1：26～27

こういうわけで、神は彼らを恥ずべき情欲に引き渡されました。すなわち、女は自然の用を不自然なものに代え、同じように、男も、女の自然な用を捨てて男どうしで情欲に燃え、男が男と恥ずべきことを行うようになり、こうしてその誤りに対する当然の報いを自分の身に受けているのです。

「同性愛に対してのアメリカの流れ LGBTのトレンド」 H.F

ユダ7

また、ソドム、ゴモラおよび周囲の町々も彼らと同じように、好色にふけり、不自然な肉欲を追い求めたので、永遠の火の刑罰を受けて、みせしめにされています。

聖書では同性愛は罪であると書かれていますが、教会は同性愛を認めはじめています。聖書の内容が変化したのでしょうか？否。神の言葉は変わることがありません。人道的に良いことが、必ずしも神の前で良いということはないのです。博愛、ヒューマニズムは非常に良く見えますが落とし穴があります。神の戒めを無視しているのです。人の基準で物事をとらえるなら、真理から離れます。教会が人間的な考え方に陥り始め、神の戒めに反しているのが今の時代です。世に親しんで教会自体が変質しているのです。

ルカ12：51～52

あなたがたは、地に平和を与えるためにわたしが来たと思っているのですか。そうではありません。むしろ、分裂です。いまから、一家五人は、三人がふたりに、ふたりは三人に対抗して分かれるようになります。

イエスは、一家は対抗して分かれるといわれました。これは神の家である教会のことでしょう。この中に分裂を起こすために来られた、と言われました。今まさに、教会が同性愛について2派に分かれています。アメリカの信徒の半数は同性愛を受け入れていますが、半数は受け入れていません。これから同性愛に関連してキリスト教会の中で大きな反目をもたらされ、分裂が起こるのです。

第一コリント11：19

というのは、あなたがたの中で、本当の信者が明らかにされるためには、分派がおこるのもやむをえないからです。

このように分裂は本当の信徒が主の前に明らかにされるために許されているのです。今後、同性愛の反対者への非難がますます激

しくなります。多くの教会もその流れに乗り、同性愛を認めるようになります。いずれ教会でも同性愛を認める者が大半となり、御言葉に従う人々は、極端なカルト、差別論者と非難され、訴えられる時代が来るでしょう。

マルコ13：12

また兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子は両親に逆らって立ち、彼らを死に至らせます。

これは教会の中のことでしょう。時が進むにつれ、ますます同性愛の受け入れは進んでいき、いずれは、教会内で、同性愛を認めない人は反社会的な危険人物として排除される日がくるでしょう。あらゆる教会が同性愛は罪と言わなくなる日がきます。教会が黙示録で言われる「ソドムと呼ばれる都」になることが実現するのです。

そして、私達は態度を決めなくてはなりません。イエスの言葉に従うのか、この世の基準に従うのか。ソドム化した教会に従うのか、神の御言葉に留まるのか。迫害がおこりうる時にどうするのか。偽教師は惑わしの言葉を述べるとあります。聖霊によって見極めなくてはなりません。同性愛を受け入れる人道主義、という罠に入り込んではいけません。



同性愛の罪を指摘したゆえ、多くの人から非難されているアメリカのゴスペル歌手Kim Burrell

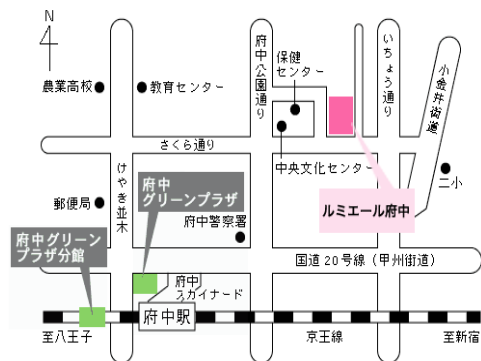
●エレミヤの新刊「天皇家は万世一系のダビデ王朝の末裔である！」



定価:¥1,500+消費税 ※注文を御希望の方は、以下へご連絡下さい。
 警告の角笛出版 tel:042-364-2327 fax:020-4623-5255
 mail:truth216@nifty.com

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日 午前 10:30-12:30
 午後 14:00-16:00
 場所:東京都京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館
 (tel:042-360-3311)
 1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、
 「レムナントキリスト教会」の部屋をご確認ください。
 どなたでも来会歓迎、入場無料です。



礼拝場所のURL: http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map_02.html

★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。
 尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>